(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 17 日

山梨県知事

殿

提出者

住 所 山梨県韮崎市穂坂町三ツ沢650

氏 名 東京エレクトロン株式会社

山梨事業所長 両角 友一朗

電話番号 0551-22-8611

山梨県生活環境の保全に関する条例第62条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	事	業	湯の	の名	3 称		東京エレクトロン株式会社 山梨事業所 穂坂地区
	事	業場	」の	所有	在 地		山梨県韮崎市穂坂町三ツ沢650
	計	迪	Î	期	間		2024年4月1日~2025年3月31日
当該	亥事:	業場は	にお	いて	現に	行。	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	電気機械器具製造業
	2	事	業	の	規	模	売上3,335億円
	3	従	3	業	員	数	1656人(2024年4月1日現在)
							1. 事業所内の一次集約場所へ廃棄物を移動 2. 一次集約場所から二次保管場所へ廃棄物を移動 3. 二次保管場所から最終保管場所へ廃棄物を移動 4. 最終保管場所から収集運搬業者に引渡す 5. 収集運搬業者が中間処理業者へ収集運搬する 6. 中間処理場にて中間処理し、残渣を他の処分業者に出して処分この残渣が売却される場合には中間処理場が最終処分となる 7. 処理後の残渣が更に処理される。この後に残渣が出ない場合と残渣が売却される場合には7の処理が最終処分となる

(日本工業規格 A列4番)

	te dada de la como	(A) A	2 囲 /	
産第	<b>医棄物の処理に</b>	係る管理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
		安全衛生委員会		
		総括安全衛生管理者		
		安全管理者/衛生管理者		
		衛生工学衛生管理者		
			事務局	
			環境安全推進部	
			廃棄物管理部会	
		職場EHS推進委員会		
		概 切 い い に 匹 女 貝 ム		
		各職場		
		<b>计</b> 职场		
	ļ			
産業	<b>芝廃棄物の排出の</b>	抑制に関する事項		
		【前年度( 2023 年度		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		産業廃棄物の種類_	別紙1の通り	
		LII. III. B	Dularta o 17 lo	
		# 出 量_	別紙1の通り t	t
	①現状	(これまでに実施した取	組)	
		分別、リサイクル		
		I I take I		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙1の通り	
		排 出 量_	別紙1の通り t	t
	@#I <del></del>	(今後実施する予定の取	· 本日 /	
	②計画	分別、リサイクル	\\rm \	
		特管廃油の排出量増加が	想定されるための目標値	[変更。(25t)
産弟	芝廃棄物の分別に	関する事項		
		(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に関す	- - る取組)
	①現状	4 1 種類の分別区分を社		
		廃プラスチック類3種、	ガラ陶飲み物5種、一般	廃棄物類6種
		化学物質7種、化学物質	付着物4種、廃木材、ラ	ンプ電池3種等
		(今後分別する予定の産業	業廃棄物の種類及び分別に	こ関する取組)
	②計画	現状の分別を継続する。		

自员	っ行う産業廃棄物の	再生利用に関する事項									
		【前年度 ( 2023 年度) 実績】									
		産業廃棄物の種類_ 別紙1の通り									
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 別紙1の通り t	t								
	①現状	(これまでに実施した取組)									
		なし									
		【目標】									
		産業廃棄物の種類_ 別紙1の通り									
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 別紙1の通り t	t								
	②計画	(今後実施する予定の取組)									
		なし									
自	っ行う産業廃棄物の「	中間処理に関する事項									
		【前年度 ( 2023 年度) 実績】									
		産業廃棄物の種類_ 別紙1の通り									
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 別紙1の通り t	t								
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量別紙1の通り t	t								
		(これまでに実施した取組)									
		なし									
		産業廃棄物の種類_ 別紙1の通り									
		白ら数同収を行う									
		産業廃棄物の量がない。	t								
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量別紙1の通り t	t								
		(今後実施する予定の取組)									
		なし									

自身	っ行う産業廃棄物の埋	世立処分又は海洋投入処分に関する事項	
		【前年度 ( 2023 年度) 実績】	
		産業廃棄物の種類_ 別紙2の通り	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 111111111111111111111111111111111111	t
	①現状	(これまでに実施した取組)なし	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類 別紙2の通り	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 別紙2の通り t 産業廃棄物の量	t
مراجع المراجع	②計画	(今後実施する予定の取組) なし	
)	芝廃棄物の処理の委託 「	に関する事項 【前年度( 2023 年度)実績】	
		産業廃棄物の種類_ 別紙2の通り	
		全処理委託量_ 別紙2の通り t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量別紙2の通り t	t
		再生利用業者への 処理委託量 別紙2の通り t	t
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量 別紙2の通り t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
		(これまでに実施した取組) なし	

(第5面)

		【目標】	
		産業廃棄物の種類_ 別紙2の通り	
		全処理委託量_ 別紙2の通り t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量別紙2の通り t	t
		再生利用業者への 処理委託量 別紙2の通り t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量 別紙2の通り t	t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t
		(今後実施する予定の取組) なし	
<b>※</b> 事	¥務処理欄		

#### 備考

ľ

- 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成するこ 1 と。
  - 当該年度の6月30日までに提出すること。 2
  - 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入するこ 3
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。 (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応

事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するま での一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入するこ と。
- 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら 4 間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中 間 処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託 量 を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施 行 令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回 収 施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)で あ る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者 の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物  $\mathcal{O}$ 種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記 入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき は、「一」を記入すること。
  - 7 ※欄は記入しないこと。

# 東京エレクトロン(株)山梨事業所(穂坂地区)

# 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の量	汚泥泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	【特管】有害 廃油	全品目合計
現状(実績)	216	1	244	45	4	71	1	3	13	598
計画(目標)	216	1	244	45	4	71	1	25	13	620

# 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 単位: t

単位: t

自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	汚泥泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	感染性廃棄物	全品目合計
現状(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

### 単位: t

自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	汚泥泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	感染性廃棄物	全品目合計
現状(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	汚泥泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	感染性廃棄物	全品目合計
現状(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 東京エレクトロン(株)山梨事業所(穂坂地区)

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

単位: t

自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量	汚泥 泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	【特管】有害 廃油	全品目合計
現状(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

単位: t

産業廃棄物の量	汚泥 泥状のもの	廃油	廃アルカリ	廃プラスチッ ク類	木くず	金属くず	ガラスくず、 コンクリート くず及び陶磁 器くず	特管廃油	【特管】有害 廃油	全品目合計
現状(実績) 全処理委託量	216	1	244	45	4	71	1	3	13	598
優良認定処理業者への 処理委託量(実績)	173	1	85	40	4	49	1	3	13	369
再生利用業者への 処理委託量(実績)	216	1	244	45	4	71	1	3	13	598
認定熱回収業者への 処理委託量(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画(目標) 全処理委託量	216	1	244	45	4	71	1	25	13	620
優良認定処理業者への 処理委託量(目標)	173	1	85	40	4	49	1	25	13	391
再生利用業者への 処理委託量(目標)	216	1	244	45	4	71	1	25	13	620
認定熱回収業者への 処理委託量(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0